

いてご教示いただいた今坂正一氏にお礼申し上げます。

○参考文献

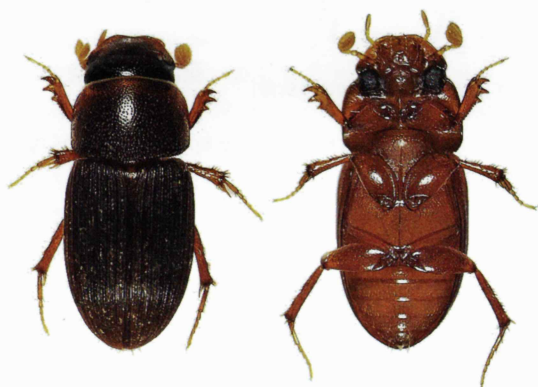
岡島秀治・荒谷邦雄, 2012. 日本産コガネムシ上科標準
図鑑: 237. 学研プラス, 東京.

(〒817-0032 対馬市厳原町久田451-2)

対馬からコスジマグソコガネの記録

さかい 境 よしあき 良朗

コスジマグソコガネ *Aphodius (Pleuraphodius) lewisii* Waterhouse, 1875 は、国内では本州、伊豆諸島、九州、奄美大島に分布するが局地的で個体数も少ないという(岡島・荒谷, 2012)。対馬からは初記録と思われるので報告する。



対馬産コスジマグソコガネ (左: 背面, 右: 腹面)

lex. (写真), 長崎県対馬市厳原町内山, 1. VII. 2022, 筆者採集・保管

ライトトラップにこの1個体のみが飛来した。九州北部の分布状況であるが、長崎県本土および離島からは記録がない。佐賀県では馬渡島からのみ記録があり、福岡県では最近になってシカの勢力拡大に伴って記録が出てきている(今坂氏私信)。対馬においても近年シカが激増しており、ヒメダイコクコガネと同様に個体数を増やしていることが予想される。本種は朝鮮半島にも生息しているので、日本本土ー対馬ー大陸という分布域のつながりが確認されたことになる。

末尾になるが、対馬の記録および北九州の現状につ